



三郷の若手農業者 全国表彰

3/14 環境保全型農業推進コンクール

環境に配慮した農業を表彰する「第19回環境保全型農業推進コンクール」（全国環境保全型農業推進会議主催）が3月14日、さいたま市で行われ、三郷地域の若手農業者を中心とした団体・バジルクラブ（鈴木達也代表・三郷明盛）が優秀賞を受賞しました。同クラブでは無農薬・減農薬農法や有機農法を実践。環境保全型農業と小学校での食農教育など地域貢献にも取り組んでいることが評価されました。鈴木さんは「受賞が、自分たちのような小規模農家が農業を続けていく励みになればうれしい」と話しました。



吹きガラスでマイグラス作り

3/27 あづみ野ガラス工房春休み親子ガラス体験

あづみ野ガラス工房（豊科南穂高）の春休み親子ガラス製作体験が3月26日と27日の両日行われました。2日間で市内在住の親子64人が参加。工房職員の説明を受けながら、吹きガラスの技法で好きな色を付けたグラスやそば猪口などを作りました。27日に参加した柳本凜華さん（明南小3年）は「ガラスを膨らますのが大変でした。出来上がったグラスを家で使ってみたいです」と話しました。

15 広報 あづみの 2014.4.23

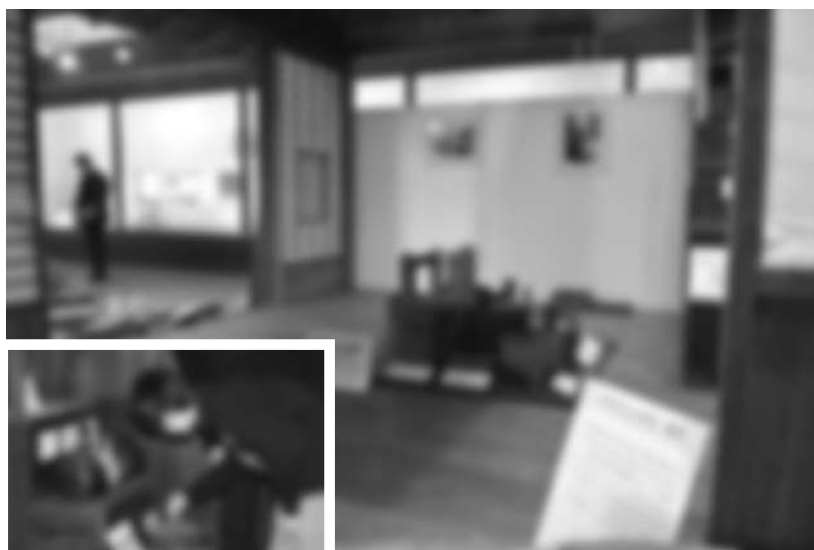
全国で活躍！安曇野の子どもたち

3/20 小中学生全国大会出場者表敬訪問

スポーツの全国大会へ出場、または出場を控えた小学生・中学生の皆さんが3月20日、県安曇野庁舎で宮澤市長を表敬訪問しました。出席した選手の皆さんはそれぞれ大会や今後への目標を掲げました。また、2月開催の全国中学生スキー大会において、個人種目で入賞、県代表チームの一員として団体種目で優勝した岡村慧胤くん（豊科北中3年）には、本年度から全国大会上位入賞者へ贈られる表彰状が宮澤市長から手渡されました。

【訪問した皆さん】（敬称略・学年は訪問当時）

第51回全国中学校スキー大会（平成26年2月2日～5日 群馬県）5*□クラシカル4位入賞、4×3*□リレー優勝 岡村慧胤（豊科北中3年） 第36回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会（平成26年3月26日～30日 東京都）武田朋己（豊科北小5年） はまなす杯第8回全国中学生空手道選抜大会（平成26年3月28日～30日 北海道）山越月（明科中2年） 第13回全国小学生ソフトテニス大会（平成26年3月29日～31日 千葉県）吉田瑛稀、田矢鴻史郎、臼井優月、伊與部希奈、稲葉葉、内藤紀子（穂高北小5年）寺島風慧、ひらかわゆりあ、やまとときき、うすいこはく、平川優里愛、山本咲季（同4年）臼井琥珀（同3年）大鷹颯矢、はたつばさ、さかいちか、羽田翼、堺千花（穂高南小4年）



安曇野の宝さがしの拠点に

3/29 豊科郷土博物館常設展示リニューアル

豊科郷土博物館（百瀬新治館長）の改修と常設展示替えが終わり、オープニングセレモニーが3月29日、同館で行われました。当日は同館友の会会員など関係者約40人が出席。展示説明の中で百瀬館長は「興味のある展示をきっかけに市内を巡り、安曇野の宝さがしに出掛けてほしい」と話しました。

新しい常設展示は、これまでの豊科地域を中心とした資料から全市域の資料を扱うようにし、「安曇野をめぐる水と私たちの暮らし」をテーマに安曇野らしい景観などを支える堰や地下水などの関わりと歴史を学べるようになっています。このほか水鉄砲の製作体験コーナーや市内散策の手助けとなる「安曇野の見どころシート」なども設置しています。

セレモニーで入館者代表としてテープカットを行った佐々木克葉くん（三郷小6年）は、博物館の楽しさを「学校で学んだ実物に出会えるところ」と話しました。

松本地震の経験を防災に生かす

3/22 松本市野溝町防災会講演会

穂高交流学习センター「みらい」の防災を考える展（市教育委員会主催）に合わせ、松本市野溝町防災会講演会が3月22日、同センターで行われました。当日は市民など約20人が参加。隣近所で安否確認訓練などを行い、より実践的な活動を行う「野溝方式」と呼ばれる取り組みのほか、平成23年6月の松本地震発生時の様子などを同防災会会長の矢崎留二さんが説明しました。聴講した白金区長の寺嶋政樹さんは「被災体験などが聞け、区の防災活動の参考になります」と話しました。



消防団活動を支えて 市内で初受賞

3/28 消防団等地域活動表彰伝達式

消防団活動に協力している事業所を表彰する総務省消防庁の消防団等地域活動表彰の伝達式が3月28日、本庁舎で行われ、共和アスコン(株)（金原一男代表取締役社長・穂高牧）に宮澤市長から表彰状が贈られました。本年度、全国で15事業所が選ばれ、市内事業所では初受賞になります。同社では団員の従業員が多く、就業規則などで勤務中の出勤に配慮するなど長年、消防団員の活動しやすい職場づくりを行っていることなどが評価されました。金原さんは、団員経験が従業員の危機管理能力など人材育成に役立っていると「これからも地域防災のために消防団の活動を支えていきたい」と話しました。

2014.4.23 広報 あづみの 14